

紀南病院 研修医通信 Vol.120 2022年8月号

先輩の先生方の勧めと、四日市から遠く離れた場所での医療を見てみたいという思いから、紀南病院での研修を希望しました。

まず、紀南病院では75歳でもかなり若いという扱いになり、四日市とは健康寿命が明らかに異なることには驚きました。

また、2年目になり、救急外来での仕事にも慣れ、どこか患者さんより疾患を相手にした診察をしていたことに気付かされました。患者さんの訴えをしっかりと聴くことの重要性を再認識し、「病気を診ずして、病人を診よ」という言葉の意味を感じさせられた研修期間でした。

指導医の福井先生をはじめ、多くの先生方、スタッフの皆様にお世話になり、充実した日々を過ごすことができました。紀南病院で学んだことを今後活かして行きたいと思っています。最後になりましたが、1ヶ月間ありがとうございました。

市立四日市病院 研修医2年目
中藪 啓史



私の出身が新宮市ということもあり、地元近くの医療体制について学びたいと思い、紀南病院での研修を希望させていただきました。

研修では病棟管理をはじめ、診療所研修、訪問診療や往診など様々な経験をさせていただきました。その中で先生方は身体的な問題だけでなく、社会的、精神的な問題まで考えられて診療されていました。また、時間がある時は積極的に外に出て「地域を知る」ことに努めました。結果として「地域に生きる」患者さんを理解することに繋がるのが分かりました。

最後となりましたが、指導医の原田哲朗先生をはじめ、コメディカルの皆様、地域住民の方々には様々なことをご教授いただき、本当にありがとうございました。

伊勢赤十字病院 研修医 2年目
大前啓太



総合内科診療を学びつつ、三重県の東紀州地域を知りたいという思いで紀南病院での研修を選択しました。

研修では病棟管理から救急外来まで、様々なことを経験させて頂き、改めて内科疾患について学び直すことができました。また、診療所研修では患者さんとの会話を通して、医学的なことだけではなく、その地域での生活や歴史についてを知ることができました。

1ヶ月を通して東紀州1ヶ月地域のあらゆる景勝地を訪れることができ、三重県南部の魅力に気づくことができました。景色だけでなく食べ物も非常に魅力的で、こので何匹の魚達が私の胃袋におさめられたかは計り知れません。

お世話になった先生方、スタッフの皆様、そして地域の皆様には心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

鈴鹿中央総合病院 研修医2年目
堅田貴大

